

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年 2月 2日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901472		
法人名	有限会社 パリーツウッド		
事業所名	グループホーム プランタンII		
所在地	旭川市東旭川北1条4丁目15-26 (電話) 0166-36-6608		
評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成22年1月29日	評価確定日	平成22年3月25日

【情報提供票より】 (平成22年1月23日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 1 2 月 2 6 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤 6人, 非常勤 14人,	常勤換算 9.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3階建ての	1~2 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000円	その他の経費(月額)	水道光熱費 5,000円
敷金	有()円・ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要 (1月 23日現在)

利用者人数	17 名	男性 6 名	女性 11 名
要介護1	4 名	要介護2	0 名
要介護3	4 名	要介護4	4 名
要介護5	5 名	要支援2	0 名
年齢	平均 84.5 歳	最低 68 歳	最高 103 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	旭川ペインクリニック、東郷整形外科、林歯科、旭川ファーストクリニック
---------	------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、比較的介護度の高い利用者状況の中で、職員は利用者の心に寄り添いながら自立、生活支援に取り組み、人生の貴重な時間を穏やかに楽しく過ごしていただく事を目指しています。小学校児童との世代間交流や、初詣や相撲・野球観戦など、利用者の思いを反映した外出行事に力を注ぎ、豊かな生活を支えています。施術サービスや音楽療法は心身の機能維持と同時に楽しみに繋がっています。これらの楽しみ事は日々の安定した暮らしの上に成り立っており、利用者はホーム内の思い思いの場でゆったりと寛ぎ、管理者、職員は協働してサービスの質向上に意欲的に取り組んでいます。

【重点項目への取組状況】

重点項目	①	<p>前回評価での主な改善課題とその後取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善課題である地域交流、職員育成、同業者との交流、災害対策については改善に着手し、段階を踏んで取り組みを継続しています。他の改善課題に関しては今後の検討としています。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価の意義や目的を伝達してミーティングなどで協議し作成していますが、職員の自己評価への関与に不足感があり、職員全員が評価に向き合う事が期待され、また計画的な改善への取り組みの為に「改善計画シート」の活用も期待します。</p>
	②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>家族や地域代表、協力病院関係者を構成員に、今年度は消防署職員を招いて救急救命講習を実施し、行事と会議を組み合わせ、会議運営の工夫を行なっています。行政担当者は会議の重要な構成員でありますので、地域包括支援センター職員の招集に積極的に取り組み、2ヵ月毎の定期開催に努めながら、会議の充実、運営への反映に期待します。</p>
重点項目	③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>毎月の通信や写真、ホームページを通して利用者の暮らしの情報発信をしています。家族と接する機会を捉えて、心配事など意見や要望を伺いながら、話しやすい雰囲気作りに配慮しています。外部相談窓口を周知し、内部には相談、解決の窓口を別に設け、苦情表出や迅速な解決に配慮したシステムを整えています。</p>
重点項目	④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入し、ホーム行事を町内に回覧していただくなど啓発に努めており、春の植栽や地域商店主催の祭りに参加しています。今年度は小学校に働きかけ児童との有意義な双方向の交流になっています。子供110番の家の登録や実習生の受け入れにも積極的に取り組み、地域社会との連携や貢献に努めています。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営法人の理念「バリーツウドウ(何でもあり)」に加え、地域密着型サービスに根差したホーム独自の理念を策定し、認知症や障害を持っていても、地域の中で、その人らしい暮らしの支援に日々取り組んでいます。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は、理念をケアサービスの実践に繋げた伝達に留意し、引継ぎ時やミーティング、新人研修においても理念の理解や具現化した周知を図り、職員全体が統一した認識の下でサービスの実践に努めています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、ホーム行事を案内して啓発に取り組んでいます。小学校児童とはホーム訪問や戦争体験の講話、認知症やホーム理解の講義など、双方にとって楽しく有意義な交流が始まっています。子供110番の家の登録、実習生の受け入れなど地域社会への貢献に努めています。	○	ホームとして地域住民の方々との更なる交流の方針を持っていますので、今後はホーム行事や救急救命講習などに、住民の方々の参加を積極的に呼び掛けたり、散歩など、折にふれ住民の方々とのふれ合いをより深める取り組みに期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価の作成は、ミーティング等を通して評価の意味や目的の理解・周知を行ない、管理者が中心となって自己評価を纏め上げています。評価を繰り返す事により、職員の意識付けが徐々に進められていますが、十分に機能していない状況が若干見られます。	○	サービス評価をより有効に活用するために、職員全員に評価シートを配布して記入を促したり、職員間で項目を分担し協議するなど、職員個々の取り組みとしてサービスの実際や課題を明確にし、ホーム全体の質の向上に繋げた取り組みを期待します。

旭川市 グループホーム プランタンⅡ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、家族や地域住民代表、病院関係者を構成員とし、今年度はテーマに合わせ消防署職員を招いた救急救命講習など、行事と会議を組み合わせた同日開催としています。開催頻度は3～4カ月のサイクルに留まっています。	○	行政担当者は重要な構成員でありますので、積極的に地域包括支援センター職員の参加要請に取り組む事を期待します。また更なる地域住民の方々の参加もいただき、2ヵ毎の定期開催に努めながら、会議の充実、運営への反映に期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者とは介護業務での連携や、市主催の研修会や会議に出席し、情報収集を行ない質の向上を図っています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	諸費納入の際や来訪時には生活状況や健康状態を報告し、状態変化は電話連絡で家族の心配に対応しています。毎月発行のプランタン通信は行事や食事を写真紹介し、暮らしぶりの一端が垣間見れます。ホームページでも情報発信を行なっています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族と接する機会の対話を大切に捉えています。心配事などの意見や要望を伺いながら率直な話し合いを持ち、日頃から話しやすい関係作りをしています。玄関内に「ご意見箱」を設置し、相談、解決のそれぞれの窓口を別に設け、苦情表出や解決に配慮したシステムを整えています。外部機関の苦情相談窓口の周知を行なっています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの職員による継続支援を認識し、離職や職員異動を最少限にするよう留意しています。やむを得ない交替の際には、パート職員から正職員登用を行なったり、日頃のユニット間交流を活かし、ユニットの枠を超えて一時的なサポート体制により、利用者への影響回避の配慮をしています。		

旭川市 グループホーム プランタンⅡ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年4回の運営法人合同研修のほか、行政やグループホーム協議会主催の外部研修に参加を促し、職員の出席は徐々に増加傾向にあります。研修後は資料の回覧が行なわれていますが、知識や情報の共有に不足感が見られます。	○	外部研修の参加促進の継続的な取り組みに成果が窺えます。さらに職員育成に関しての内部研修の仕組みを検討し、外部研修後の報告や毎月テーマを設定した勉強の機会を持つなど、職員が主体となって学び合い、スキルアップを図る取り組みを期待します。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は同業者との連携や交流の必要性を認識し、地域包括センター主催のグループホーム管理者の集いに積極的に参加し、ネットワーク作りや勉強会、ホーム見学など、交流の輪が広がりつつある現状です。職員にも機会を捉えて同業者交流を推奨し相互研鑽を促して、質向上の取り組みを継続しています。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に、管理者とユニット主任が自宅や病院への訪問を通して面談し、利用者や家族にホーム内の見学を薦めています。利用者の生活スタイルや健康状況などの情報収集を行ない検討し、入居後のケアサービスに繋がっています。新生活への心配や不安感に配慮し、早期の関係作りを目指しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、「利用者本位の介護」「穏やかで楽しい暮らし」を心掛け、利用者の心に寄り添った支援に努力しています。時には混乱や苦しみを受け止め、楽しみや喜び、感謝や笑顔を交わし合う関わりの中で、互いに支え合う関係性が窺えます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	従来のMDSアセスメントシートに加え、センター方式アセスメントシートを導入し、より詳細な全体像の把握に取り組みはじめています。入居時の家族からの情報のほか、生活場面での会話や表情、仕草から利用者の意向を汲み取り検討しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月のスタッフミーティングで職員の気づきや現状の情報交換を実施しています。家族の意向や医療関係者の意見を参考に、利用者本位の具体的な計画を作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3ヵ月毎に担当者会議で検討し、状態の安定している利用者は6ヵ月の定期見直しを行なっています。入院や状態変化については状況を見極め、医療関係者と連携を図りながら、速やかな計画の変更に取り組んでいます。	○	日々の記録の中で、介護計画に沿ったサービスの実施状況や効果の把握を容易にし、職員間の共有促進や実情に沿ったサービスの実施に繋がるよう、介護計画と記録が連動する工夫を期待します。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療機関の通院介助や各種イベント・外出行事・買物の送迎、また柔道整復師による施術サービスなど、ホームの有する機能を柔軟に活用した支援をしています。		

旭川市 グループホーム プランタンⅡ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関との良好な関係が確保されています。協力医療機関の月2回の往診や利用者、家族の希望するかかりつけ医への定期的な受診のほか、非常勤看護師による日常健康管理が継続されています。緊急時にも24時間の連絡可能な体制が整備されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に終末期のあり方について、具体的な対応指針も整備したホーム独自の方針を策定し、早期に利用者や家族と話し合いを持っています。状態変化に伴ってその都度利用者、家族の意思確認や、医療関係者、職員と共有を図り、最善の方向での対応に取り組んでいます。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	接遇研修など職員の意識向上を図り、親しみある関係性を踏まえつつ、名前の呼び方や言葉掛け、排泄介助など、尊厳重視のケアに取り組んでいます。個人情報利用の同意を取り、写真利用も含め、情報の利用や記録の取り扱いに細心の注意を払っています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームとしての生活の流れはありますが、「バリーツウドウ」の姿勢を基本に、その人らしい暮らしを重視して、利用者に問いかけながら、ペースや希望、状況に合わせて柔軟に対応しています。		

旭川市 グループホーム プランタンⅡ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の力量や状況に合わせて作業を一緒に行ない、利用者の傍での調理や献立の説明するなど、食に関しての興味を引き出す関わりを心掛けています。落ち着いた環境で美味しく食事が進むよう支援し、外食や行事食、屋外でのバーベキューなど食事の変化も楽しんでいます。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週2回日中の時間帯と定めていますが、利用者の希望や状況によって対応し、入浴剤の使用や入浴の声掛けの工夫を行ない、清拭やシャワー浴も併せて支援し、寛いだ入浴になるよう支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	過去の経験や現状の力量を発揮できる役割や場面を通して、利用者が満足感や充実感が持てるよう支援しています。定期的な施術サービスや音楽療法は、リハビリ効果と同時に利用者の楽しい一時になっています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候の良い時期は車椅子での散歩や買物も日常的に支援しています。季節のお花見や果物狩り、野球や相撲観戦、初詣など、利用者の思いや希望を考慮した多彩な外出を支援しており、喜びやメリハリのある暮らしは、利用者の地域生活の継続や心身の活性化、五感刺激の効果に繋がっています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は夜間帯のみ施錠しています。特に外出傾向の利用者はいませんが、利用者の見守りに徹し、動揺や不安な心情に添って外出に同行する事もあり、利用者の安全を守りつつ自由な生活を支援しています。		

旭川市 グループホーム プランタンⅡ

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防設備会社の立会いの下で、年2回避難訓練を実施し、今年度は夜間想定や緊急時職員連絡訓練を行なっています。運営推進会議を通して地域に働きかけ、避難場所の確保などにも取り組んでいますが、十分な状況に至っていません。	○	法人内系列施設の相互連携体制作りが進んでいますが、災害の臨場では、近隣住民の方々の協力が不可欠ですので、地域との関係性を築きながら、避難後の利用者の一時的保護など、具体的な協力を要請し、災害対策がさらに強化されるよう期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考えた系列グループ内の献立を利用し、利用者の嗜好や嚥下・健康状態に応じて、代替食の用意や調理法・介助法など個人別に対応しています。水分量は1000ccを目安に支援し、水分・食事摂取量を記録しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	台所と一体となったリビングで、他の利用者と一緒に寛ぐ利用者が多く、ソファや食卓など、それぞれの居場所で過ごせるよう、落ち着いた環境作りに努めています。リビングや廊下には、写真や季節の飾りなど華美にならない装飾がされています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはトイレが完備され、使い慣れた調度品や生活用品、大切にされているお位牌などが持ち込まれています。利用者と一緒に掃除をするなど室内清潔に留意し、居心地の良い環境作りに配慮しています。		

※ は、重点項目。